

農林水産副大臣が来町

赤潮対策現地報告会

↓筒井農林水産大臣のあいさつ



↑約400人が詰め寄せた薄井漁港

11月29日、2年連続で深刻な赤潮被害に見舞われた本町に、筒井信隆農林水産副大臣が来町し、赤潮対策現地報告会が開催されました。

薄井漁港であったこの会には、皆吉稲生衆院議員や小里泰弘衆院議員、野村哲郎参院議員も出席し、養殖業者ら約400人が参加しました。

筒井副大臣は、漁業者の赤潮被害のうち共済金で賄えない分について、「被害を受けた鹿児島など3県に限り、約20億円を目標に別枠を設けたい。漁協や漁業者のため活用してほしい」と話し、本年度補正予算の地域活性化交付金の予算が可決されたことを報告しました。

また筒井副大臣は、養殖に関する漁業共済などについて「支払額を大幅に増やすよう概算要求している」と説明されました。

最後に、町の養殖業者を男性代表で、竹上裕記さんが「2年続きの被害は自助努力の域を超え大変苦しい。今回の対策で勇気づけられ、今後も安心安全な養殖ブリを全国に届けることを誇りに続けていきたい」と述べました。

また、女性代表では、久保照美さんが「これまで、被害にあつてから思いがけない励ましの声など沢山いただいた。今回予算が成立し、将来の後継者のため大変感謝したい。」とお礼を述べました。

↓女性代表の久保照美さん



↓男性代表の竹上裕記さん



↓県選出の国会議員も参加

